

第58回日本医学教育学会学術大会

ジョイントシンポジウム2 / Joint Symposium 2

共催: 日本看護系大学協議会 | 日本保健医療福祉連携教育学会 | 日本薬学教育学会

医・看・薬で、SDMを支える専門職連携能力の共通基盤を考える90分



QOL・生活支援を基盤とした 共同意思決定を支援する専門職連携教育

—医・看・薬のモデル・コア・カリキュラムから
臨床コンピテンシーの質保証へ—

*Interprofessional Education to Support Shared Decision-Making
Grounded in Quality of Life and Daily Living Support*

Shared Decision
Making

QOL・生活支援

IPE / IPC

Quality Assurance

開催概要

日時: 8月1日(土) 15:00-16:30

会場: 第5会場 富山市民プラザ 4F アンサンブルホール

共催: 日本看護系大学協議会、日本保健医療福祉連携教育学会、日本薬学教育学会

テーマ: QOL・生活支援を基盤とした共同意思決定を支援する専門職連携教育

企画目的

医学・看護学・薬学のモデル・コア・カリキュラムに共通する「共同意思決定」「患者中心の医療」「QOL・生活支援」「専門職連携」に関して、基礎教育から臨床実践まで一貫した臨床コンピテンシーの質保証を検討する。

このシンポジウムで議論すること

- ・ 医・看・薬に共通する「共同意思決定」「患者中心」「生活支援」「専門職連携」の能力をどう接続するか
- ・ 基礎教育から卒後・継続教育、臨床実践までを貫くコンピテンシー評価・質保証のあり方
- ・ QOLと生活者の視点を軸に、専門職連携教育をどのように再設計するか

登壇者・座長

医学教育: 春田 淳志 (慶應義塾大学医学部 教授/日本医学教育学会)

看護教育: 西村 礼子 (日本看護系大学協議会/東京医療保健大学 学長特別補佐)

薬学教育: 竹平 理恵子 (北里大学薬学部 准教授/日本薬学教育学会)

座長: 川原 千香子 (帝京大学 准教授/日本保健医療福祉連携教育学会)

プログラム構成(90分)

0-10分 イン트로ダクション/趣旨説明

10-30分 講演①: 医学教育の視点

30-50分 講演②: 看護教育の視点

50-70分 講演③: 薬学教育の視点

70-85分 ディスカッション: SDM × QOL × IPC × 能力保証

85-90分 クロージング: 次年度以降の専門職教育連携の展望

第58回日本医学教育学会学術大会
公式ポスター



<https://www.c-linkage.co.jp/jsme58/program.html>